



No.160

令和 8 年 1 月 30 日 発行

路材協会報

路面標示材協会

東京都千代田区神田佐久間町 3-27-1 (大洋ビル)

〒101-0025 Tel (03) 3861-3656

Fax (03) 3861-3605

目 次

令和 8 年を迎えて.....	理事 上野大志	1
会員会社一覧		3
高付加価値塗料の実路面評価について.....	技術委員会	4
事務局便り・余滴		16



令和 8 年を迎えて

理事 上野 大志

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員並びに賛助会員の皆様には、当協会の活動に対し、日頃より格別のご支援とご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

本年もなお一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2025年を振り返りますと、世界と日本の双方で歴史的な出来事が相次ぎました。国際情勢では、トランプ大統領による相互関税政策が世界経済に大きな影響を与え、カナダ総選挙やイランとイスラエルの軍事衝突など、地政学的リスクが高まる一年となりました。

一方、国内では明るい話題もありました。4月に大阪府夢洲で開催した「大阪・関西万博」は、来場者数が2,557万人に達し、大盛況のうちに閉幕しました。また、政治面では10月21日、高市早苗氏を内閣総理大臣とする「高市内閣」が正式に発足し、日本史上初の女性首相が誕生しました。これは日本政治における大きな転換点といえるでしょう。しかし、課題も残っています。1月には、埼玉県八潮市で道路の陥没によりトラックが転落し、ドライバーの方が死亡する重大事故が発生しました。この事態を受け、国土交通省は全国の下水道管を対象に特別重点調査を実施し、老朽化対策の強化を進めています。

さらに、近年はクマによる人身被害や出没件数が増加しており、地域社会の安全確保に向けた早急な対応が求められています。捕獲や追い払いの体制整備、情報共有の強化、住民への啓発など、総合的な取り組みが不可欠です。

国の施策に目を向けますと、2025年6月には政府が「第1次国土強靱化実施中期計画」を閣議決定しました。この計画は令和8年度からの5年間を対象とし、日本のGDP約4%に相当する約20兆円超の投資を行う国家的プロジェクトです。背景には、気候変動による災害の激甚化・頻発化、高度経済成長期に整備されたインフラの老朽化、そして人口減少に伴う人材不足という三つの課題があります。本計画は、2025年度に完了する「5か年加速化対策」の後継として位置づけられ、国土強靱化への取り組みを切れ目なく推進することを目的としています。施策は、①防災インフラの整備・管理、②ライフラインの強靱化、③デジタル等新技術の活用、④官民連携の強化、⑤地域防災力の強化の五つの柱で構成され、ハード面だけでなくソフト面の強化も重視しています。

道路区画線についても、従来から交通の安全と円滑な流れを確保するために欠かせない役割を果たしてきましたが、今後は自動運転技術の普及やスマートインフラの進展に伴い、その重要性はさらに高まります。自動運転車はカメラやセンサーを用いて区画線を認識し、車線維持や位置把握を行うため、視認性や耐久性の確保が不可欠です。摩耗や劣化による認識精度の低下は誤作動や事故のリスクを高めるため、高視認性塗料や反射材を用いた高耐久型区画線が求められています。当協会では、こうした変化に対応し、交通安全に貢献するため、今後も新しい技術を積極的に提案してまいります。

最後になりますが、当協会では、理事会・業務委員会・技術委員会が連携し、事故のない社会の実現を目指して、交通安全に資する取り組みを進めてまいります。引き続き、皆様のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(積水樹脂株式会社 第一事業本部 副本部長)

路面標示材協会

会員会社

会社名	〒	住 所	電話／FAX
アトムクス(株)	174-0041	板橋区舟渡3-9-6	03-3969-1552 03-3968-7300
大崎工業(株)	593-8311	大阪府堺市西区上89番地	072-272-1453 072-274-1810
(株)キクテック	457-0836	名古屋市南区加福本通1-26	0569-48-1145 0569-48-6440
信号器材(株)	211-8675	川崎市中原区市ノ坪160	044-411-2191 044-422-1543
神東塗料(株)	135-0016	江東区東陽3-23-22 東陽プラザビル5階	03-5690-0541 03-5690-0553
積水樹脂(株)	105-7110	港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター 10階	03-6758-1058 03-6758-1084
(株)トウベ	592-8331	大阪府堺市西区築港新町1-5-11	072-243-6421 072-243-6407
日本ライナー(株)	135-0007	江東区新大橋1-8-11 大樹生命新大橋ビル7階	03-5638-7431 03-5638-7434
レーンマーク工業(株)	731-1142	広島市安佐北区安佐町 大字飯室字森城6864-18	082-835-2511 082-835-2513

賛助会員会社

会社名	〒	住 所	電話／FAX
日本ガラスビーズ協会	300-2662	茨城県つくば市下河原崎254-36 ポッターズ・パロティーニ株式会社 管理部内	029-847-7483 029-848-1056
日本ゼオン(株)	100-8246	千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービルディング	03-3216-2342 03-3216-0504
大日精化工業(株)	103-8383	中央区日本橋馬喰町1-7-6	03-3662-7111 03-3669-3924
早川商事(株)	103-8350	中央区日本橋小舟町6-1	03-3662-6711 03-5641-0777
三光(株)	541-0052	大阪市中央区安土町2-3-13 大阪国際ビルディング3階	06-7638-8825 06-7638-8826

高付加価値塗料の実路面評価について

路面標示材協会 技術委員会

1. 経緯

近年、路面標示用塗料には高耐久化の要望が強まっています。加えて、自動運転機能搭載車における車載カメラ等の認識は、路面標示が明瞭であるほど適切に機能する一方、劣化・摩耗により塗膜欠損（かすれ、剥がれ等）が生じると誤検知が発生することが知られています。こうした背景から、路面標示材協会技術委員会では、耐久性の向上を主眼に、高付加価値路面標示用塗料の評価に取り組んでいます。

前報（路材協会報No.159）では、基準品（一般的に施工されているJIS品）に対し、硬質骨材（B粒30%、C粒30%）および2液反応型樹脂を用いた試験品を設定し、耐摩耗性、チョーキング性（耐候劣化）および促進摩耗性（NEXCO試験法805、独自試験）により比較しました。その結果、硬質骨材の混入は摩耗に対する耐久性向上に、2液反応型樹脂は耐候劣化に対する耐久性向上に寄与することが示され、試験方法によって評価結果が異なることが確認されました。

本報（路材協会報No.160）では、2023年12月に国道17号常盤7丁目交差点および県道213号交差点で施工した実路面試験について、反射輝度値（乾燥時・湿潤時）およびすべり抵抗値の経時測定結果を中間的に整理し、ラボ試験との差異および相関を確認するための基礎資料として報告します。

2. 実路面施工

実路面で試験施工を行い、実路面評価と各試験方法の相関を確認しました。

施 工 日：2023年12月19～20日（19日：基準品、20日：試験品）

施 工 場 所：国道17号 常盤7丁目交差点（埼玉県さいたま市浦和区常盤5丁目15）

→地点A～E

県道213号 交差点（埼玉県さいたま市浦和区岸町4丁目20）

→地点F、G

試 験 品 目：基準品、試験品①（硬質骨材B粒30%）、試験品②（硬質骨材C粒30%）、試験品③（2液反応型）

天候／気温：晴れ／5～14℃

施 工 条 件：各塗料は下記の配合・仕様で施工し、散布ガラスビーズはJIS R 3301相当品を使用しました。

効 果 検 証：塗膜外観（昼間・夜間）、反射輝度値（乾燥時・湿潤時）、すべり抵抗値
→3、6、9、12、18、24か月後

試験配合

	規 格	種 類	ガラスビーズ配合量 (%)	硬質骨材配合量
基 準 品	JIS K 5665 3 種 1 号 (以下、基準品)	熔融型	15.0～18.0	—
試験品①	—	熔融型	15.0	B 粒30% (粒径0.5～1.0mm)
試験品②	—	熔融型	15.0	C 粒30% (粒径0.15～0.5mm)
試験品③	—	2 液反応型	15.0	—

施工仕様

	使用量 (g/m) (45cm幅)			施工方法
	プ ラ イ マ ー	塗 料	散布ガラスビーズ	
基 準 品	60	1350	75	45cm幅施工機
試験品①	60	1350	75	45cm幅施工機
試験品②	60	1350	75	45cm幅施工機
試験品③	—	1350	75	45cm幅アプリケーション

3. 経時調査結果

塗 膜 外 観：地点Cで基準品・B粒品・C粒品に摩耗、2液反応型に剥離が見られます。他地点は汚れ以外の差は小さいです。B粒品は凹部に汚れが溜まり目立ち、C粒品も基準品よりやや汚れが目立ちます。2液反応型は白色性を維持しています。

反 射 輝 度 値：全地点・全種類で施工後3か月までに大きく低下し、その後は緩やかに低下します。地点差のばらつきはありますが、平均挙動に大差はありません。

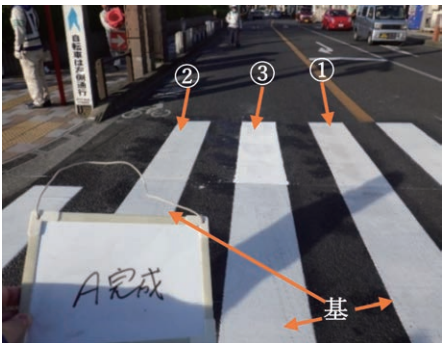
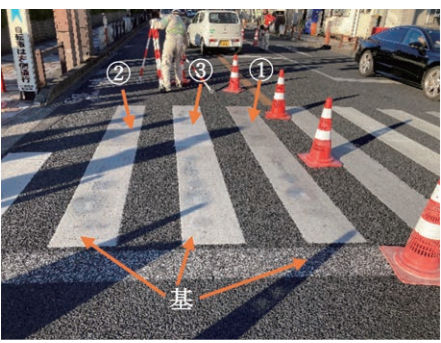
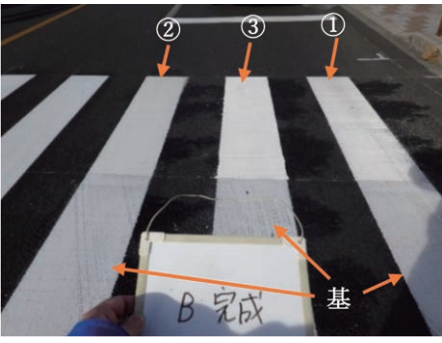
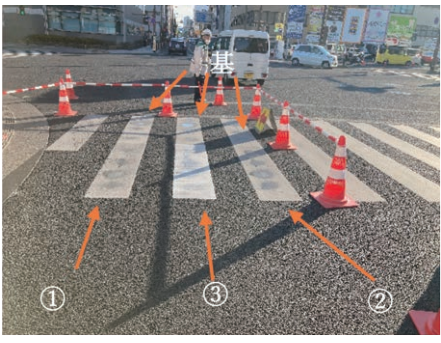
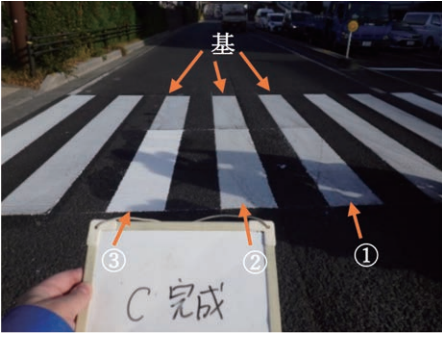
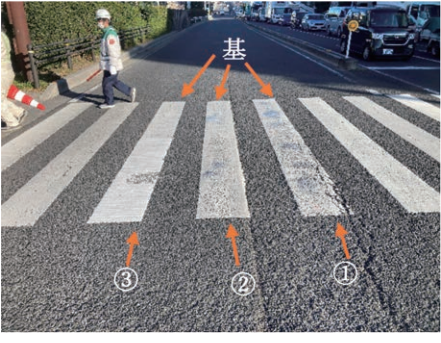
すべり抵抗値：B粒品・C粒品は高め（概ね50後半～70台）で推移します。2液反応型は全期間で低め、基準品は中位で比較的安定しています。

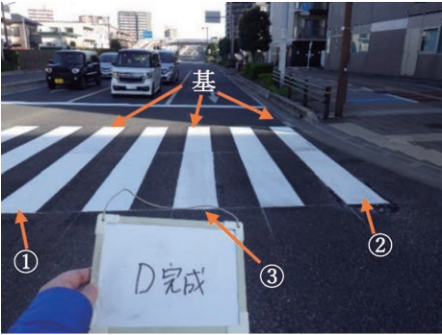
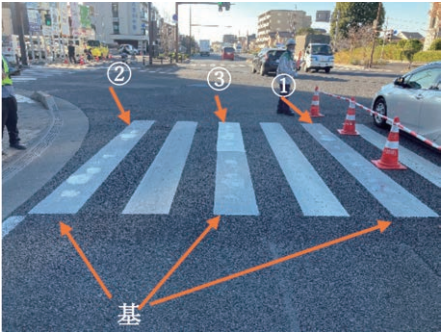
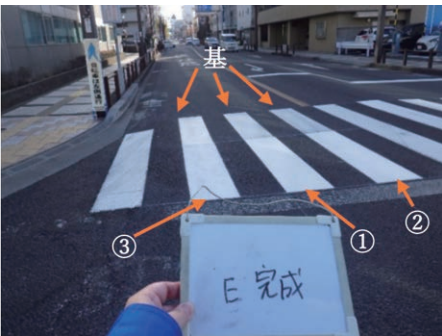
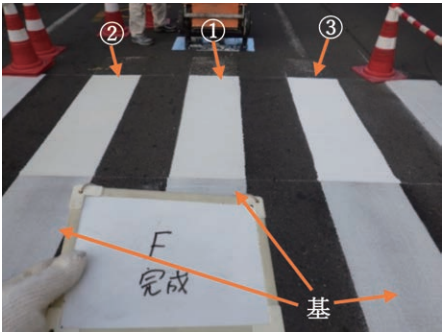
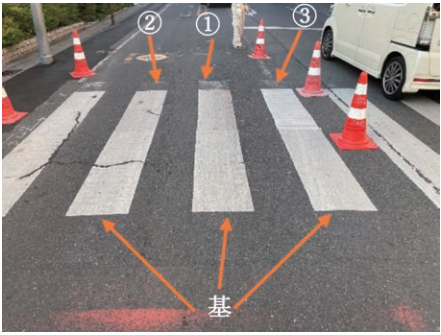
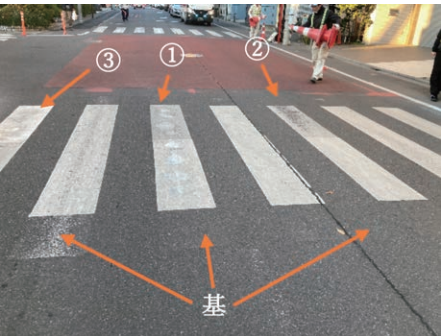
基：基準品 (JIS K 5665 3種1号)

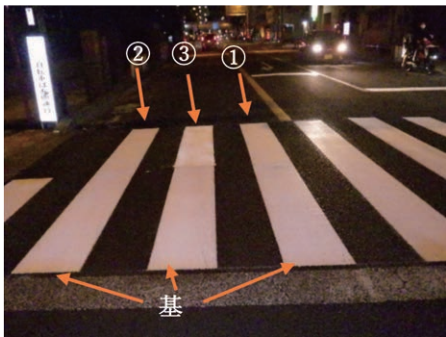
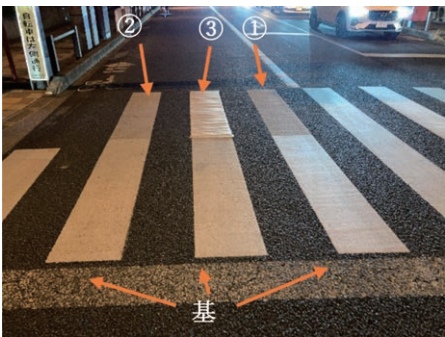
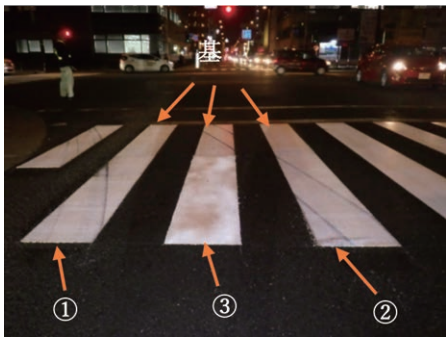
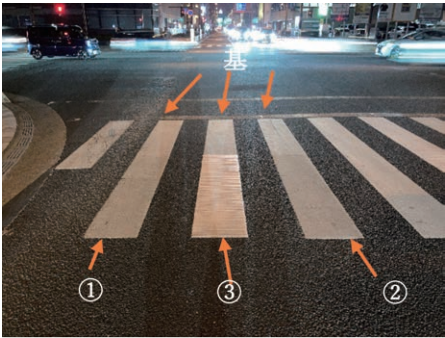
①：試験品① (B粒30%)

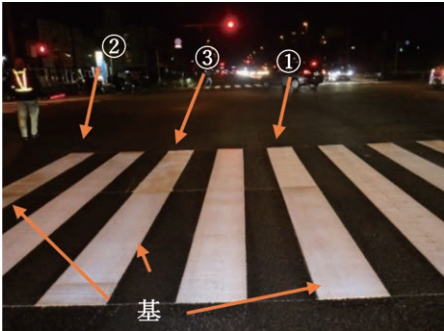
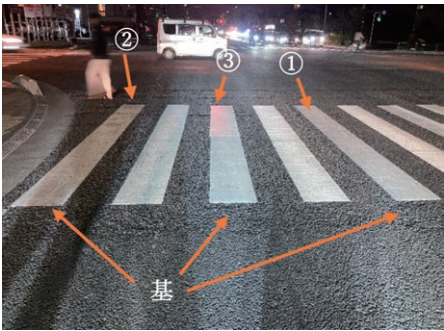
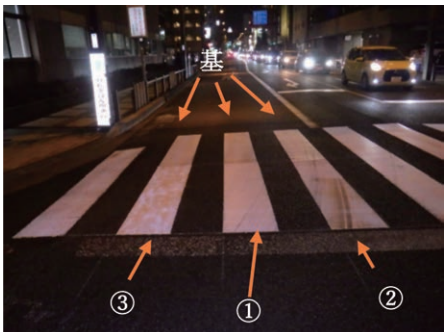
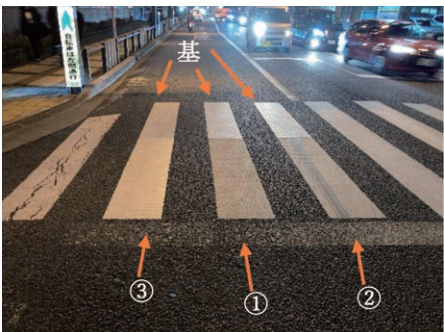
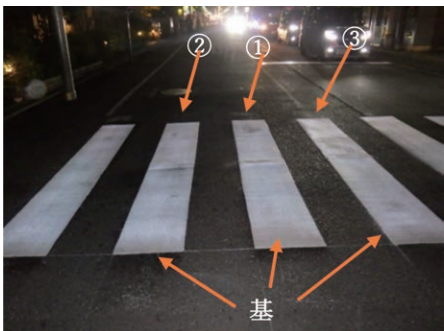
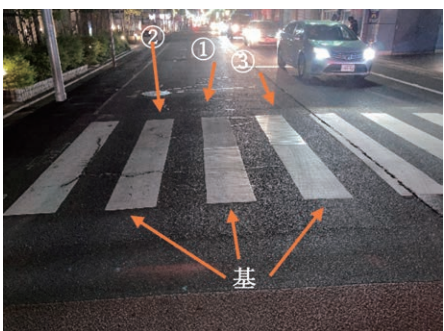
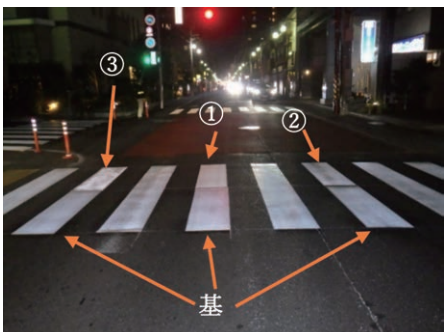
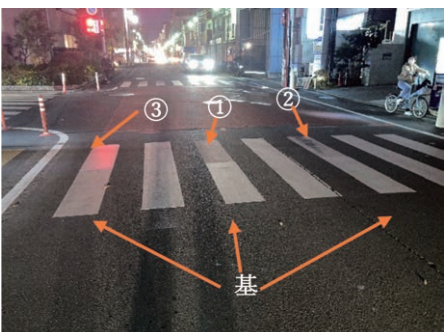
②：試験品② (C粒30%)

③：試験品③ (2液反応型)

	施工直後昼間	施工24か月経過昼間
地点A		
地点B		
地点C		

	施工直後昼間	施工24か月経過昼間
地点D		
地点E		
地点F		
地点G		

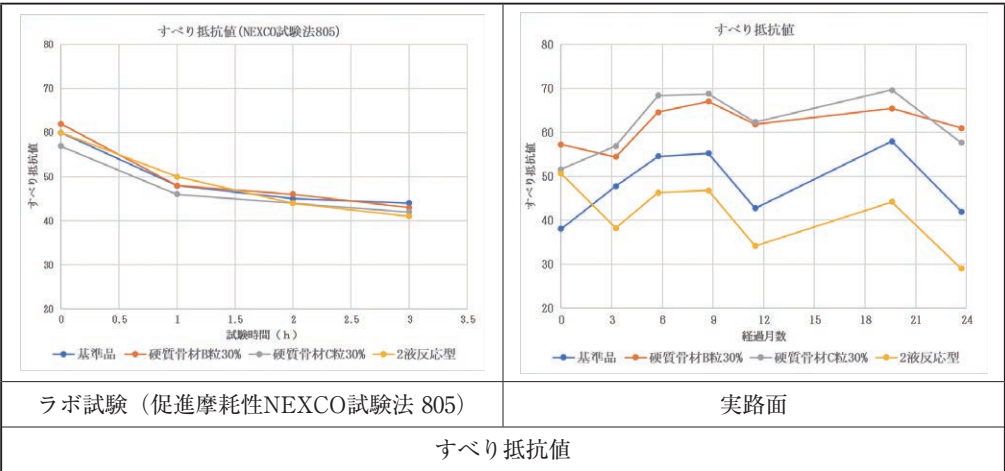
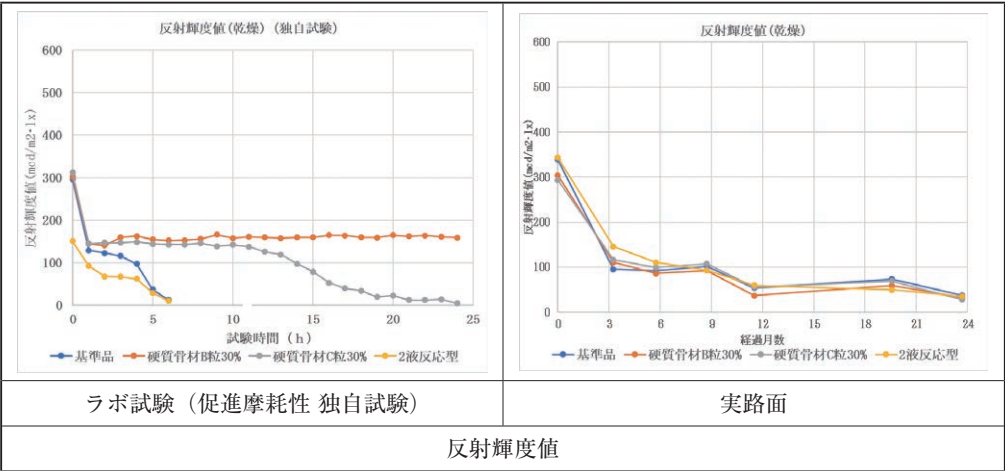
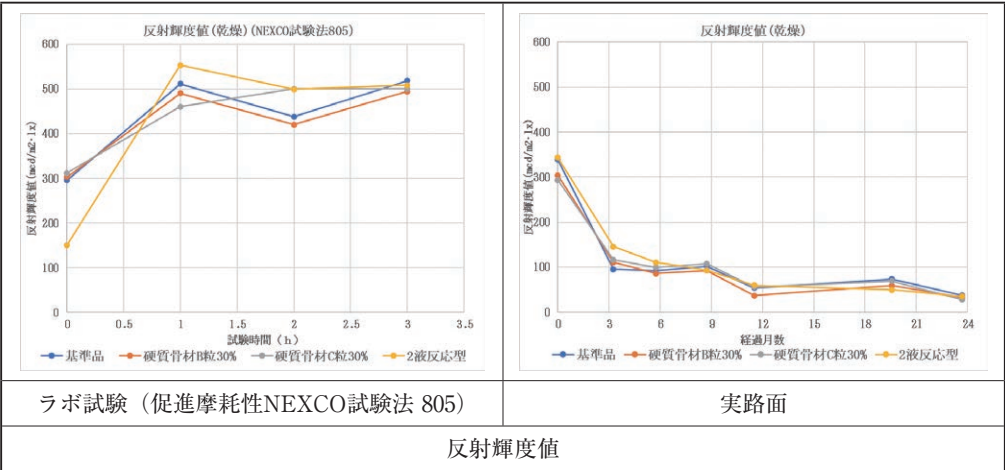
	施工直後夜間	施工24か月経過夜間
地点A		
地点B		
地点C		

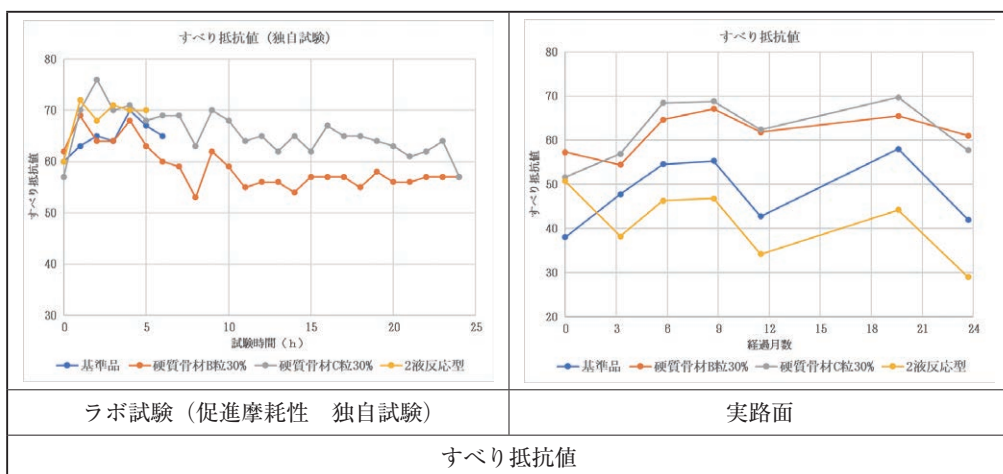
	施工直後夜間	施工24か月経過夜間
地点D		
地点E		
地点F		
地点G		

4. ラボ試験と実路面での反射輝度値、すべり抵抗値の比較

反射輝度値	NEXCO試験法 805	ラボ試験では初期から反射輝度値が上昇するのに対し、実路面では時間経過とともに低下していくため、本現場においては相関性が得られていません。
	独自試験	初期から反射輝度値が低下していく傾向はラボ試験と実路面で相関が見られます。ラボ試験では基準品が6時間程度で摩滅していますが、実路面では残存しているため、さらに継続調査が必要と考えます。
すべり抵抗値	NEXCO試験法 805	ラボ試験では初期から全品種同様のすべり抵抗値を示し、時間経過とともに低下しますが、実路面では品種によりすべり抵抗値が大きく異なります。また、一概に時間経過とともに低下するとはいえません。
	独自試験	ラボ試験では基準品が6時間程度で摩滅していますが、実路面では残存しているため、さらに継続調査が必要と考えます。

各種ラボ試験と各地点平均値の比較をしたのが下記グラフです。





5. 今後の対応

前報（路材協会報No.159）で言及しました耐摩耗性（テーパー摩耗試験）、チョーキング摩耗試験は塗膜の摩耗量を測定する試験となるため、施工現場の経時調査を継続し、塗膜の残存状態で判断していく予定です。

参考文献 路面標示材協会発行書籍：「路面標示材料」（平成30年度版）

路面標示材料（赤本）

JIS K 5665：2018「路面標示用塗料」改訂に伴う最新の規格・基準や、新施工法に合わせた第6版。

（内容）

第Ⅰ部 基礎編

路面標示用塗料の概要
路面標示用塗料の原料
路面標示用塗料の試験項目と試験方法
路面標示用塗料の施工
路面標示用塗料などの取扱いの注意事項
路面標示用塗料の塗膜欠陥と対策
高視認性標示
水系路面標示用塗料
路面標示塗料用ガラスビーズ
路面標示の反射輝度値
その他の路面標示用材料（貼付け式、埋設式、等）

第Ⅱ部 応用編

プライマーの効果
路面標示用塗料の黄色
路面標示の夜間視認性
すべり摩擦係数と路面のすべり
安全を守るための関係法規
路面標示用塗料のクラック
路面標示用塗料のピンホール、ふくれ現象
路面標示用塗料の汚れ
塗膜の変形（溶融型塗料）
路面標示用塗料（1種・2種）のにじみ
熱履歴による溶融型塗料の品質低下

B5版 約220頁（頒価3,000円）（送料共）

路面標示用語（改訂版）

1. はじめに

路面標示業界（標示工事業も含めて）でよく使われる「言葉」、即ち専門用語あるいは中間言葉、隠語符牒の類をできるだけ多く集めて解説を加えた、「用語解説書」。

2. 解説の基本方針

- ①解説の基本態度はできるだけ不偏であること。
- ②解説に当っては実現性と合理性を重視すること。
- ③表現は、平易と簡潔とすること。
- ④解説に複数の見解があるときは、委員会の合議にかけ調整すること。
- ⑤追加用語については、その説明の根拠を明確にすること。

B5版約60頁（頒価1,500円）（送料共）

申込みは **路面標示材協会事務局**
下記FAXにてお願いいたします。

東京都千代田区神田佐久間町3-27-1
大洋ビル
（TEL.03-3861-3656）
（FAX.03-3861-3605）

		申込日	令和	年	月	日
【住 所】（〒 - ）		【部 数】	材料			
【会社名】			用語集			
【部署名】		【TEL】				
【お名前】		【FAX】				
お支払い方法		請求書必要				

令和 7 年中の交通事故死者数について

(警察庁 令和 8 年 1 月 7 日公表より抜粋)

事 務 局

1 交通事故発生状況の推移 (昭和23年～令和 7 年 抜粋)

年	発生件数		負傷者数		死者数		人口10万人当たり	
	(件)	指数	(人)	指数	(人)	指数	死者数 (人)	指数
昭和 23 年	21,341	...	17,609	...	3,848	23	4.93	30
30	93,981	...	76,501	...	6,379	38	7.22	44
35	449,917	...	289,156	29	12,055	72	12.97	79
40	567,286	...	425,666	43	12,484	74	12.85	79
45	718,080	100	981,096	100	16,765	100	16.33	100
50	472,938	66	622,467	63	10,792	64	9.81	60
55	476,677	66	598,719	61	8,760	52	7.54	46
60	552,788	77	681,346	69	9,261	55	7.70	47
平成 元 年	661,363	92	814,832	83	11,086	66	9.03	55
5	724,678	101	878,633	90	10,945	65	8.79	54
10	803,882	112	990,676	101	9,214	55	7.30	45
15	948,281	132	1,181,681	120	7,768	46	6.10	37
20	766,394	107	945,703	96	5,209	31	4.08	25
25	629,033	88	781,492	80	4,388	26	3.44	21
30	430,601	60	525,846	54	3,532	21	2.79	17
令和 元 年	381,237	53	461,775	47	3,215	19	2.54	16
2	309,178	43	369,476	38	2,839	17	2.25	14
3	305,196	43	362,131	37	2,636	16	2.09	13
4	300,839	42	356,601	36	2,610	16	2.08	13
5	307,930	43	365,595	37	2,678	16	2.14	13
6	290,895	41	344,395	35	2,663	16	2.14	13
7	287,236	40	338,294	34	2,547	15	2.06	13

- 注 1 算出に用いた人口は、各年の前年の人口であり、総務省統計資料「人口推計」（各年10月1日現在人口（補間補正を行っていないもの。国勢調査実施年は、国勢調査人口による。ただし、昭和23年及び24年は補間補正人口））による。
2 交通事故件数及び負傷者数は、昭和34年以前は軽微な被害（8日未満の負傷、2万円以下の物的損害）事故を含まない。
3 交通事故件数は、昭和41年以降は物損事故を含まない。
4 交通事故件数、負傷者数、死者数及び人口は、昭和46年以前は沖縄県を含まない。
5 指数は、昭和45年を100とした値である。
6 令和7年の発生件数及び負傷者数は、12月末現在の速報値であり、今後変更される場合がある。

2 月別交通事故死者数の推移 (平成27年～令和 7 年)

年	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下半期計	年間合計
平成27年 (2015)		346	308	317	320	314	287	1,892	333	340	339	391	379	443	2,225	4,117
平成28年 (2016)		349	261	321	309	323	264	1,827	294	328	309	376	350	420	2,077	3,904
平成29年 (2017)		282	288	303	244	282	276	1,675	314	310	299	343	372	381	2,019	3,694
平成30年 (2018)		318	245	282	270	253	235	1,603	280	296	279	338	326	410	1,929	3,532
令和元年 (2019)		265	210	261	266	210	206	1,418	229	278	293	313	328	356	1,797	3,215
令和2年 (2020)		262	247	239	213	194	202	1,357	191	197	243	273	280	298	1,482	2,839
令和3年 (2021)		198	207	210	198	183	202	1,198	230	193	207	273	251	284	1,438	2,636
令和4年 (2022)		183	176	203	191	214	191	1,158	207	230	222	261	252	280	1,452	2,610
令和5年 (2023)		217	170	226	184	208	176	1,181	236	240	215	252	254	300	1,497	2,678
令和6年 (2024)		220	185	177	196	206	198	1,182	227	246	221	252	248	287	1,481	2,663
令和7年 (2025)		234	189	191	196	172	179	1,161	185	203	229	227	252	290	1,386	2,547
	増減数	14	4	14	0	-34	-19	-21	-42	-43	8	-25	4	3	-95	-116
	増減率	6.4	2.2	7.9	0.0	-16.5	-9.6	-1.8	-18.5	-17.5	3.6	-9.9	1.6	1.0	-6.4	-4.4
1日当たり死者数		7.5	6.8	6.2	6.5	5.5	6.0	6.4	6.0	6.5	7.6	7.3	8.4	9.4	7.5	7.0

注 増減数（率）は、前年と比較した値（増減率は小数点以下第2位を四捨五入）である。

3 都道府県別交通事故死者数（令和5年～令和7年）

都道府県		死者数			
		令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	順位
北海道		131	104	129	3
東北	青森	45	43	27	37
	岩手	35	28	39	28
	宮城	47	47	38	29
	秋田	32	31	33	31
	山形	34	24	23	40
福島		55	51	53	18
東京		136	146	134	2
関東	茨城	93	94	82	10
	栃木	59	60	69	12
	群馬	47	49	48	20
	埼玉	122	113	125	4
	千葉	127	131	122	5
	神奈川	115	109	139	1
	新潟	55	55	55	15
	山梨	29	28	19	44
	長野	42	57	44	22
	静岡	70	88	72	11
中部	富山	31	22	30	35
	石川	28	30	32	33
	福井	20	23	21	41
	岐阜	50	70	55	15
	愛知	145	141	112	7
近畿	三重	66	46	59	13
	滋賀	43	28	54	17
	京都	59	52	49	19
	大阪	148	127	120	6
	兵庫	103	109	98	8
中国	奈良	26	23	25	38
	和歌山	31	34	33	31
	鳥取	14	15	17	46
	島根	22	9	17	46
	岡山	49	60	41	24
四国	広島	78	68	58	14
	山口	35	51	31	34
	徳島	28	33	19	44
	香川	33	31	20	42
	愛媛	43	52	46	21
九州	高知	23	21	25	38
	福岡	103	91	85	9
	佐賀	13	24	20	42
	長崎	36	26	29	36
	熊本	37	55	41	24
	大分	32	28	41	24
	宮崎	30	39	34	30
	鹿児島	40	53	44	22
	沖縄	38	44	40	27
全国		2,678	2,663	2,547	***

人口10万人当たり死者数			
令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	順位
2.55	2.04	2.56	23
3.74	3.63	2.32	29
2.96	2.41	3.41	9
2.06	2.08	1.69	42
3.44	3.39	3.68	5
3.27	2.34	2.27	31
3.07	2.89	3.04	12
0.97	1.04	0.95	47
3.27	3.33	2.92	14
3.09	3.16	3.66	6
2.46	2.58	2.54	24
1.66	1.54	1.70	41
2.03	2.09	1.95	37
1.25	1.18	1.51	44
2.55	2.59	2.62	22
3.62	3.52	2.40	28
2.08	2.84	2.21	33
1.95	2.48	2.04	36
3.05	2.18	3.01	13
2.50	2.71	2.91	15
2.66	3.09	2.84	18
2.57	3.63	2.87	17
1.93	1.89	1.50	45
3.79	2.66	3.45	8
3.05	1.99	3.85	1
2.31	2.05	1.94	39
1.69	1.45	1.37	46
1.91	2.03	1.84	40
1.99	1.77	1.95	38
3.43	3.81	3.75	4
2.57	2.79	3.20	11
3.34	1.38	2.65	21
2.63	3.25	2.24	32
2.83	2.48	2.14	35
2.67	3.93	2.42	26
3.98	4.75	2.77	19
3.53	3.35	2.18	34
3.29	4.03	3.61	7
3.40	3.15	3.81	2
2.01	1.78	1.67	43
1.62	3.02	2.54	25
2.81	2.05	2.32	30
2.15	3.22	2.42	27
2.89	2.55	3.78	3
2.85	3.74	3.29	10
2.56	3.42	2.87	16
2.59	3.00	2.73	20
2.14	2.14	2.06	***

注 算出に用いた人口は、各年の前年の人口であり、総務省統計資料「人口推計」（各年10月1日現在人口（補間補正を行っていないもの。国勢調査実施年は国勢調査人口による。））による。

事務局便り

1. 会員の異動

(1) 正会員

- 株式会社トウペの協会理事は、吉住 和典 氏から吉村 秀治 氏に代わりしました。(2025年 9 月)
- 株式会社トウペの業務委員は、吉川 務 氏から吉住 和典 氏に代わりしました。(2025年 9 月)
- 信号器材株式会社の業務委員は、森下 鉄平 氏から池見 純 氏に代わりしました。(2025年 4 月)

(2) 賛助会員

- 東邦顔料工業株式会社は賛助会員を退会されました。(2025年 3 月)
- 三光株式会社は賛助会員に入会されました。(2025年 5 月)

(3) 事務局

- 事務局長であった 宮坂 拓司 氏は専務理事となりました。(2025年 5 月)

2. 委員会活動

(1) 業務委員会

- 令和 6 年度の都道府県別、路面標示用塗料の出荷量調査・分析を行いました。
- 「高付加価値標示用塗料」試験施工の経時調査の報告を関係団体に行いました。

(2) 技術委員会

- 「高付加価値標示用塗料」試験品の試験施工の経時調査を行いました。実路面と試験データの相関性についての検証が目的です。
- 路材協会報No.160号に「高付加価値塗料の実路面評価について」を掲載しました。
- 「JIS K5665路面標示用塗料 改正JIS原案作成委員会」に参画し、原案作成を行いました。2026年度の改正を目指しています。

余滴

2025年が終わり、2026年が始まりました。21世紀の四分の一が経過したことになります。路面標示材協会は、路面標示材を通じて交通安全に寄与する会社の集まりです。交通安全にかかわる指標として、交通事故死者数（24時間以内の死者数）の推移を調べてみました。2025年の交通事故死者数は2001年の約30%に減少していました。

交通事故死者数（24時間以内の死者数）

2001年：8,757人	2005年：6,937人	2010年：4,989人
2015年：4,117人	2020年：2,839人	2025年：2,547人

交通安全を実現するためには、様々な対策を総合的に進めていく必要があると思います。その対策の一つとして、路面標示材がより貢献できるように、これからも努力していきたいと考えています。

路面標示材協会

TEL：03-3861-3656

FAX：03-3861-3605

<https://www.rozaikyo.com> E-mail：info@rozaikyo.com